



日本共産党千代田地区委員会
都政対策委員長、くらし・雇用相談室長



牛尾こうじろうの 「ほっと通信」

09年8月16日 第7号

ホームページ：「日本共産党牛尾こうじろう」で検索
Eメール：mo-ushi1971@nifty.com

住所：千代田区岩本町1-12-12-301
事務所：千代田区神田神保町1-40

：090-2406-7991
：3294-8411

核兵器も戦争もない世界を！

原水爆禁止世界大会（長崎）に参加してきました

今年も三日から九日まで広島と長崎で原水爆禁止世界大会がおこなわれ、私は七日からの長崎大会に参加してきました。

今大会はアメリカのオバマ大統領の「核兵器のない世界」を米政府として目標にするという演説をきっかけに「核兵器のない世界」をめざす新たな機運が盛り上がり、活気ある大会になりました。

大会では多くの海外代表が核廃絶に向けて様々な活動をおこなっていること、国内でも各地で創意あふれる運動をしていることが交流され、核廃絶の運動は確実に世界で、日本で前進していることが実感できました。

大会二日目には青年のみなさんと被爆者の三輪さんを訪問し、お話を聞きました。

三輪さんは、爆心地から一〇キロ離れた場所で被ばくしたところで、爆心地の叔母さんのところへ様子を見に行く途中、溝で倒れている女性の死体を見つけ、片付ける時に死体から内臓が飛び出し、それ以後どうしたか記憶がないという壮絶な体験や、大学を卒業するまで自分が被ばくしたことを他人に話せなかったというつらい体験を語っていただきました。

「核の問題は日本だけでない」と言う三輪さん。職場を定年後、アメリカや旧ソ連の核実験場にも



被爆者の三輪さん、青年の参加者と（8日）

行って世界の核の被害を見てきそうです。

三輪さんは懇談の最後に「絶対、こんな残虐な兵器は無くさないといけません。今の政府は私たちの声を代弁して核廃絶の先頭に立つてほしい」と。私たちに「長崎で見たこと聞いたことをまわりで伝え、核も戦争もない世界を」の声を広げてほしい」と訴えました。

私も、三輪さんの思いを胸に「憲法をまもれ」「核廃絶を」の声を様々な場所で広げていきたいと思えます。

いよいよ総選挙です

自公政権を退場させて国民が第一の政治をつくりましょう

総選挙がいよいよ十八日公示、三〇日投票でおこなわれます。

総選挙公示を目前に、衆議院東京一区（千代田区、新宿区、港区）予定候補の富田なおきさんは連日、東京一区内を駆け回っています。六日には丸の内ランチョンでサラリーマンに政策を訴えました。



丸の内ランチョンで訴える富田なおきさん（6日）

総選挙政策パンフレットと「しんぶん赤旗」号外ができました

日本共産党の総選挙政策、「『国民が主人公』の新しい日本を」パンフレットと政策を分かりやすくまとめた「赤旗」号外を作成しました。

ぜひ、お配りする「赤旗」号外をお読みください。総選挙政策パンフレットはご連絡頂ければお届けします。

総選挙には比例代表と小選挙区の2票あります

小選挙区は候補者名で
比例代表は政党名で

あれやこれや！
牛尾こうじろうの
これが言いたい！

こんな人が被爆国の首相だなんて

私が原水爆禁止世界大会の閉会総会（九日）に参加している同じ時間帯に、麻生首相は平和式典であいさつをしていました。

漢字が読めないことで有名な麻生首相。平和式典という肝心なときに「被爆者の癒すことのできない『傷跡』（きずあと）」を『しろうせき』と言ってしまったそうです。間違いは誰にでもありますが、そのことを責める気はありませんが、問題なのはその日の記者会見で麻生首相は、記者の「アメリカに核の先制不使用を求める考えはあるか」

の問いに、核先制不使用宣言について「現実的にはいかがなものか」と答えたことです。

オバマ大統領の「核兵器のない世界」宣言などをうけ、被爆者の念願である核廃絶へ大きな一歩を踏み出す歴史的な年の記念式典の日にこういう発言をおこなうなんて・・・

こんな人が被爆国の首相だと思つと残念な気分になります。さらに、これだけ核廃絶に向け、世界が動くこうとしていく年におこなわれる総選挙なのに、自民党のマニフェストには「核廃絶」の「か」の字も見当たりません。

こうした政党に日本の平和や被爆者の願いを託すわけにはいきません。

